

事業報告

平成28年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）の事業の概況についてご報告申し上げます。

当期における日本経済は、年間をとおして緩やかな回復基調が続きましたが、中国をはじめとするアジア新興国の景気の下振れによる今後への不安が広がりました。このため、生産は横ばいの動き、雇用情勢は改善しているものの個人消費の伸びは鈍いのが特徴となりました。この中で観光・旅行業では、平成28年度における訪日外客数が、年間2,482万人と、前年度に比べ346万人の増、16%の大幅な伸びとなりました。なお、地域では中国、韓国、台湾、香港で全体の73%を占めています。

このような状況の中で、基幹事業であります展望事業は、プロジェクションマッピングを活用して4月から「SAKURA TOWER」、7月から「ハイパータワー」、9月から「TSUKIMI」、11月から「STAR LIGHT FANTASIA」を開催し、年間をとおして季節に応じた名古屋の夜景の魅力創出を図ってまいりました。また、LEDによる新ライティング「煌」事業では、3月には「世界緑内障週間」、「マラソンフェスティバルナゴヤ」、「てんかん啓発」など、栄地域からの情報発信に貢献してまいりました。

さらに地域との連携事業として、恋人の聖地である展望台での「プロポーズ専用貸し切りプラン」を名古屋東急ホテルと共同企画するとともに近隣の店舗とのインバウンドに向けた集客活動、また、久屋大通発展会をはじめ周辺団体との共催による久屋大通公園を舞台に各種イベントを積極的に実施してまいりました。しかし、今年度に入り、栄地域への流入人口の減少は一段と厳しい状況となってまいりました。

また、平成28年6月をもって放送終了となりましたマルチメディア放送（NOTTV）の放送設備の撤去工事を今年2月から3月に実施しております。

経営の最大課題「名古屋テレビ塔再生事業」につきましては、今年度から施設の基本・実施設計に着手し、整備計画の策定に向けて検討を進めております。一方、名古屋市によります「栄地区グランドビジョン」に基づく久屋大通再生事業につきましては、今年度開催されました有識者懇談会からの提言書に基づき次年度に予定しています民間事業者からの提案募集に向けた準備が進められております。

この結果、当期における有料入場者数は188,489人（前年に比べ20.6%減）、また、無料を含む総入場者数は299,953人（前年に比べ7.8%減）となりました。これにより、当期における売上高合計は228,368千円（前年に比べ0.4%減）、販売費及び一般管理費合計は215,645千円（前年に比べ1.9%増）となりました。したがって、営業利益は12,665千円となり、当期純利益は3,354千円となりました。

このように平成28年度は、当社において施設整備の設計に着手するとともに名古屋市においても久屋大通の整備に向けた具体的な動きとなってまいりました。いよいよ来年度、当社にとっては施設存続の最重要な一年、栄地区にとっては、街の活性化に極めて重要な一年となります。平成28年度には株主の皆様をはじめ、多くの企業、団体そして愛知県民、名古屋市民の皆様にあたたかいご支援・ご協力を賜りましたことに深く感謝申し上げますとともに、この正念場に役職員一同全力をあげる決意でございます。株主の皆様には、誠に心苦しい限りでございますが、前期に引き続き今期も無配とさせていただきますので何卒ご理解の上、ご承認を賜りますようお願い申し上げます。